京都地域力ビジネス支援事業～府庁ちーびず応援事業～

働きたいおんなたちのネットワーク版 ちーびず

～ 妊娠期から子育て期にわたる支援をめざして ～

特定非営利活動法人 働きたいおんなたちのネットワーク

もくじ

もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ１
事業説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ２
妊娠期から子育て期の切れ目のない支援・・・・・・・ｐ３、４
子育て家庭を地域につなぐサポート・・・・・・・・・・ｐ５、６
子育て引っ越し＋α（企業との協働企画）・・・・・・ｐ７、８
京都府事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ９、１０

本冊子は、「京都地域力ビジネス支援事業～府庁ちーびず応援事業～」の支援を受け、相談・サポート部の事業の紹介のために作成したものです。各事業の運営状況を『ちーびず』『協働』『受託』と表記しました。

『ちーびず*』は、「京都地域力ビジネス＝京都式ソーシャル・ビジネス」の愛称です。当NPOの事業はすべて地域課題解決型の事業ですが、その中でも自主事業で持続可能な事業を「ちーびず」と表記しました。*詳しくはｐ９をご覧ください。

『協働』は、NPOと企業との協働で立ち上げた事業です

『受託』は、主に行政から委託を受けた事業です。

事業説明

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援をめざして

わたしたちが子育て家庭のサポートに取り組むきっかけは、2005年、集いのひろばのスタッフの「子育て家庭に手が足りていない」という気づきでした。2009年に始まった乳児家庭全戸訪問事業の訪問員も「気になる家庭がある、放っておけない」とつぶやきました。その時々に家庭に入りサポートをしているうちに、一人ひとりに寄り添うためには、多様な地域資源（人材）による多様な支援が必要だと認識しました。

2013年に地域で多様な活動をしているグループ・団体と協働で訪問型のサポートを試行実施した結果、子育て家庭を包括的に支援して「その人らしい子育てをしながら地域で生活できるように」つないでいくには、コーディネーターの重要性と質の確保が課題として見えてきました。

2014年度、2015年度に京都府の委託を受け、コーディネーター養成としての「産前・産後ケア専門員養成講座」を市町村の母子保健や子育て支援の専門職、子育て支援系のNPO等を対象に北部・中部・南部地域で実施し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指してきました。

一方、国では2015年に「まち・ひと・しごと基本方針」（平成27年6月30日閣議決定）等において、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（「子育て世代包括支援センター」）の整備を図ると位置づけられました。また、厚生労働省雇用均等・児童家庭局より『「子育て世代包括支援センター」と利用者支援事業等の関係等について（平成27年9月）』で、同センターの意義・役割・機能等について明らかにし、他の事業との関係について整理されました。

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のための相談を公的機関、市民団体、企業などの多様な地域資源につなぎ、地域の中でその人らしい子育てができるようなサポートが拡がることを期待しています。

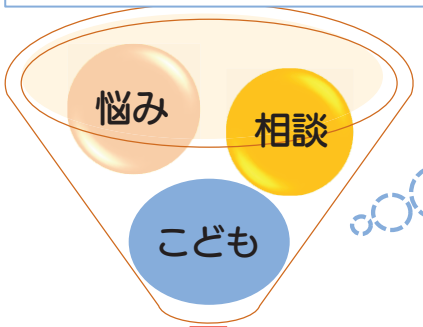
妊娠～子育て

フィンランドの「ネウボラ」紹介

フィンランドでは、ネウボラという制度があり、すべての子育て家庭に対し、かかりつけの保健師が妊娠や出産、子育てに関するあらゆる相談に応じる支援拠点となっています。妊娠期から子育て期の切れ目のない支援としてこのネウボラ（助言の場）が市町村の間で広がっています。

子育て家庭から見た利用の仕方

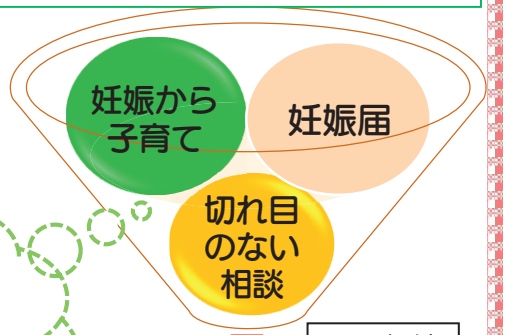
三重県名張市　名張版ネウボラ



用事がなくても
こられるように、
紙おむつ専用のゴミ
袋を無料配布

まちの保健室（高齢者）15か所
＋ チャイルドパートナー
（看護師・社会福祉士）

埼玉県和光市　わこう版ねうぼら



妊娠届け受理窓口を戸籍
住民課から、保健師や助産師
のいる保健センターなど
4か所に変更

母子保健
＋基本型

保健センターなど
（保健師・助産師）

切れ目のない支援

妊娠期から子育て期の
切れ目のない支援をめざして

子育て世代包括支援センター　＋　手助け

支援専門的知見＋当事者目線
→必要な情報共有　切れ目なく支援

ワンストップ相談窓口で、個別ニーズ把握
必要なサービスを円滑に利用(利用者支援事業)

ネットワーク構築
社会資源開発(利用者支援の地域連携)

＋

訪問型
子育て家庭
サポート

ケア専門員
＋
訪問支援員

乳児家庭
全戸訪問

＋

訪問型
子育て家庭
サポート

＋

地域
子育て支援
拠点事業

＋

ネットワーク
地域資源
地域連携

働きネットの妊娠期から子育て期にわたる支援に向けての取り組みの流れ

子育て家庭

地域につなぐ

子育て家庭を地域につなぐサポート

ワンストップ多様な相談

あなたをサポート

相談

・家事代行ではなく、その人のしやすい方法でサポート

子育て家庭訪問

同行・つなぐ

相談

・初めての親子外出
・わたしのことを話せる

少人数サロン

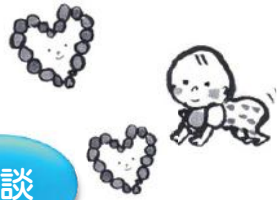
同行・つなぐ

顔見知りをつくる

・顔見知りをつくる
・おやこひろば
・ファミリーサポート登録

相談

地域につなぐ



相談

宇治市乳児家庭全戸訪問

年間に７００の乳児さんのいる家庭を訪問。
子育て情報をお届けし、おかあさんのお話に耳を傾けています。

受託

地域課題

子育て家庭訪問サポート

相談

乳幼児のこどもがいて、サポートを希望されるご家庭におうかがいします。「上の子と遊んでほしい」「ちょっと話がしたい」「ゆっくりごはんを食べたい」「健診にいくときに手伝って」など。その他、日常生活でご希望のサポートがあれば要相談。また、被災時など特別な場合は、無料でサポートをします。(15年の実績)

ちーびず

【対象】こどものいる家庭
【時間】１０時～１６時(原則)
【料金】１回２時間 ３，０００円
（交通費込、宇治市以外は実費）

※申込受付後、コーディネーターがサポート内容相談のためにご連絡いたします。

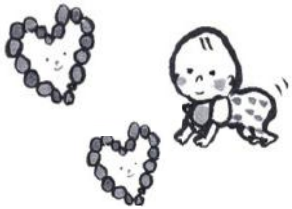
地域課題

まるごとわたしサロン

相談

イライラしたり、腹が立ったり、涙が出ちゃいそうなことってありませんか？お茶を飲みながら、ここでいっしょに過ごしませんか？ ここでは「母」「妻」「嫁」「娘」だけでなく“わたし”のはなしもできます。保育あり。０歳からOK！ 「まるごとわたしサロン」はあなたの居場所です。（7年の実績有）

【開催】毎月第３水曜日１０時３０分～１２時
【場所】平和堂１００BAN店２階「キラボ！」
【対象】概ね０～２歳のこどもを育てている女性
参加費無料・保育料／こども一人５００円・お茶代は実費（２００円程度）



宇治市地域子育て拠点「ひあ にしおぐら」

【開催日】木・金・土曜日
【日時】１０時～１５時
【場所】宇治市小倉町南堀池107の1　西小倉コミュニティセンター2階
【電話】(開設日のみ)
０９０－１２２１－６０７５

相談

受託

企業+NPO

ちーびず

子育て引っ越し＋α（あるふぁ）

子育て家庭の引っ越しをサポートしています。この事業は、働きたいネットと（株）吉田運送が協働で取り組んでいます。引っ越しに「子育て家庭サポート」がプラス。基本サポート（荷造りのサポートやお子さんの保育サポート）に、食事手配や引っ越し先への同行など状況に合わせてお選びいただけます。

【対象】こどものいるご家庭
【時間】１０時～１６時(原則)
【料金】１回２時間 ３，０００円より
（交通費込、宇治市以外は実費）
※申込受付後、コーディネーターがサポート内容相談のためにご連絡いたします。

子育て支援

【運送会社＋NPO＝子育て支援】

地域課題　（子育て＋引っ越し＝たいへん）

「こどもの小さいときの引っ越しは大変だった。」「おもちゃを荷造りしている横でこどもが泣きながらでおもちゃを引っ張り出していた。こっちが泣きそう。」「転居先での食事も出かけるのもしんどかった。地理もわからないし」という地域の子育て家庭の課題。

協働

ビジネスの手法で持続可能

運送会社の社長さんに何気なく、「こどもが小さいときの引っ越しは大変だから一緒に事業ができませんか」とお話をしたところ、「いいことやなあ」との返事。さっそく、引っ越しは本業の運送会社、こどもや家庭の有償サポートは実績のあるＮＰＯが担当し事業開始。この事業はそれぞれが別々にしていた有料の事業をコラボして取り組んだだけなので、互いに無理することなく電話１本で継続的に取り組める子育て支援事業になっています。

申し込み先
NPO法人働きたいおんなたちのネットワーク
TEL/FAX:0774-23-5390（月･火･木9:30～15:00）
Mail: information@npohatarakitai.net

京都地域力ビジネス支援事業～府庁ちーびず応援～

京都ちーびず

京都地域力ビジネス＝京都式ソーシャル・ビジネス

京都府では、ビジネス的な手法により新しい仕事や働き方で、地域の課題を解決し、自分たちの手で継続的なまちづくりをする「京都地域力ビジネス（愛称:京都ちーびず）を推進しています。

～府庁ちーびず応援～
地域で活躍する女性や団体と連携しながら、
実践的な活動を支援しています！！

＜お問い合わせ＞京都府商工労働観光部地域力ビジネス課
（京都府ソーシャル・ビジネスセンター）TEL 075-414-4883

妊娠から子育てまで切れ目なくサポートします！

京都府では、「初めての妊娠や子育てなので不安」「地域で利用できる子育てサービスを教えて欲しい」「家事や育児、外出するのが大変。手伝ってほしい」など、妊産婦さんやご家族のご希望や状況に応じたサポートを行うワンストップの相談支援拠点づくりを市町村と連携して進めています。

この拠点で、「産前・産後ケア専門員」（保健師や子育てひろばのリーダーなど）が、妊産婦さん達へのケアプランを作成し、ご希望や状況に応じた地域のサポートへつなぎます。また、「産前・産後訪問支援員」（育児経験者など）が、そのケアプランに基づき、家事支援や育児支援、外出同行支援等を行います。

＜ワンストップ相談支援拠点のサービス＞（例）
○子育てのご相談
○地域の子育て情報のご提供
○妊産婦さんの状況に応じた支援プランの作成
・家事・育児サービス
・外出時の同行サービス　など

＜お問い合わせ＞京都府健康福祉部子育て政策課（TEL 075-414-4581）

きょうと子育て応援パスポート事業

○「きょうと子育て応援パスポート」とは？

社会全体で子育てを応援するため、子育て家庭に発行しており、3,000以上の府内協賛店舗で割引など様々なサービスを受けられるものです。

○誰が使えるの？

18歳未満のお子さんや、妊娠中の方がおられる家庭

○どこで使えるの？

右のステッカーが目印です。「まもっぷ」で検索。

○どこで入手できるの？

各市町村役場や保健所などでお渡ししているほか、平成27年より、スマホアプリやウェブサイトでも入手できるようになりました。

＜お問い合わせ＞京都府健康福祉部少子化対策課（TEL 075-414-4602）

きょうと子育て応援パスポートアプリ「まもっぷ」誕生！

○「まもっぷ」とは？

「まもっぷ」は、京都府と地域の子育て支援やまちづくりに取り組むＮＰＯなどと共同開発したスマホアプリ＆ウェブサイトです。

簡単に上記パスポートが入手できるだけでなく、トイレや授乳室の有無など、こどもと一緒に安心してお出かけできるスポット情報等をご覧いただけます。

○どこで入手できるの？

スマートフォンの方は、右のＱＲコードからDLしてご利用ください。

また、パソコンや携帯電話からも、ウェブサイトでご覧いただけます。

（ウェブサイトはこちら→　http://www.mamop.jp/）

iPhone版　Android版

＜お問い合わせ＞京都府健康福祉部子育て政策課（TEL 075-414-4581）

発行　特定非営利活動法人 働きたいおんなたちのネットワーク
〒611-0021　京都府宇治市宇治妙楽 155 の 5

TEL　0774-23-5390　　FAX　0774-22-6165
E-mail　information@npohatarakitai.net
発行日　2016 年 2 月 20 日